

科目名	ビジネススキル3							年度	2026
英語科目名	Business skills 3							学期	前期
学科・学年	スポーツ健康学科 テニスコース 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	柳田	教員の実務経験		有	実務経験の職種		日本スポーツ協会公認テニスコーチ4		
【科目の目的】 様々なビジネス環境で対応できる能力を身に付け総合的な人間力を高めます。また、ビジネスマナーの理解やビジネス能力を深るとともに、就職につながる知識などを身に付けます。									
【科目の概要】 社会人になるために必要なヒューマンスキルおよび、ビジネス検定合格のためのスキルを身につけます。									
【到達目標】 A ビジネス環境での適切な振る舞いやマナーを理解して実践することができる B テニス業界の市場調査や顧客分析を理解しそれらを自身の就職活動で実践することができる C 広告・販売における基礎知識を理解しPOP等を作成することができる									
【授業の注意点】 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視します。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応します。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求めます。社会の動きなどを概説しますが、自分でも情報を収集し、現在の社会情勢や今後の推移について考えましょう。また授業時数の4分の3以上出席しない者は評価することができません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	ビジネス環境での適切な振る舞いやマナーを理解して実践することができる		ビジネス環境での適切な振る舞いやマナーをある程度理解することができる		ビジネス環境での適切な振る舞いやマナーを理解していない				
到達目標 B	テニス業界の市場調査や顧客分析を理解しそれらを自身の就職活動で実践することができる		テニス業界の市場調査や顧客分析をある程度理解することができる		テニス業界の市場調査や顧客分析を理解していない				
到達目標 C	広告・販売における基礎知識を理解しPOP等を作成することができる		広告・販売における基礎知識をある程度理解することができる		広告・販売における基礎知識を理解していない				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 必要に応じて適宜資料を配布します									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ビジネススキル3			年度	2026
英語表記		Business skills 3			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	資格取得	JSPO資格について知識を深める	1 業界理解	求められるスキル(資格)を理解することができる	2	
			2 目標設定	スキル(資格)を取得するための目標を再確認する		
			3 まとめ	アクティブラーニング形式で実践することができる		
2	ビジネスマナー①	メール・電話対応	1 メール対応	メールの送受信について理解することができる	2	
			2 電話対応	電話対応について理解することができる		
			3 まとめ	アクティブラーニング形式で実践することができる		
3	ビジネスマナー②	挨拶時のマナー	1 名刺交換	名刺交換について理解することができる	2	
			2 コミュニケーション	外部の方や目上の方と上手くコミュニケーションがとれる		
			3 まとめ	アクティブラーニング形式で実践することができる		
4	ビジネスマナー③	接待・テーブルマナー	1 接待時の対応	接待時の対応について理解することができる	2	
			2 テーブルマナー	テーブルマナーについて理解することができる		
			3 まとめ	アクティブラーニング形式で実践することができる		
5	ビジネスマナー④	①～③まとめ	1 まとめ	アクティブラーニング形式でテストを行い、状況別に応じた正しい対応をとることができる	2	
6	マーケティング①	テニススクール・クラブについて知識を深める	1 テニススクール	テニススクールについて理解することができる	2	
			2 テニスクラブ	テニスクラブについて理解することができる		
			3 まとめ	スクールとクラブの違いを理解することができる		
7	マーケティング②	テニスの競技人口	1 年齢別競技人口	年齢別の競技人口について理解することができる	2	
			2 テニスとソフトテニス	テニスとソフトテニスの違いを理解することができる		
			3 まとめ	アクティブラーニング形式で実践することができる		
8	マーケティング③	物販のしくみ	1 仕入れと売り上げ	仕入れと売り上げを理解することができる	2	
			2 利益	利益について理解することができる		
			3 まとめ	物販のながれを理解することができる		
9	マーケティング④	アイデア出し	1 会員数増加	会員数増加のアイデアを出すことができる	2	
			2 物販売り上げ増加	物販の売り上げ増加のアイデアを出すことができる		
			3 まとめ	アクティブラーニング形式で実践することができる		
10	プロモーション①	様々なテニスアイテム	1 ラケット	ラケットについて理解することができる	2	
			2 シューズ	シューズについて理解することができる		
			3 ストリングス	ストリングスについて理解することができる		
11	プロモーション②	広告・戦略	1 広告	広告について理解することができる	2	
			2 戦略	広告戦略について理解することができる		
			3 まとめ	アクティブラーニング形式で実践することができる		
12	プロモーション③	実演販売	1 お客様対応	スクール・ショップでの販売方法を理解し、アクティブラーニング形式で実践することができる	2	
13	プロモーション④	①～③まとめ	1 まとめ	顧客のことを理解し、会員数増加・売り上げ増加につながるPOPをデザインすることができる	2	
14	POP作成①	スマートフォンで作成	1 POP作成	顧客のことを理解し、会員数増加・売り上げ増加につながるPOPを作成することができる	2	
15	POP作成②	パソコンで作成	1 POP作成	顧客のことを理解し、会員数増加・売り上げ増加につながるPOPを作成することができる	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等